

はしおか協美 議会報告



議会報告 第1号
2011.6.23

先の統一地方選挙で、多くの皆様の温かなご支援で、尊い 2874 票を頂きました。市民の皆さまの声を代弁し、議会活動を通して「絆と活力あるまちづくり」を実現して参ります。

5 月臨時議会

議員運営委員会・常任委員会の委員および委員長・副委員長の選出。橋岡は文教・福祉委員副市長選任他の議案審議。佐倉市八街市酒々井町消防組合等、一部事務組合議会議員選挙。監査委員選任、農業委員の推薦。

志津霊園の今

「あと 120Mの道路が、つながらない！」
昭和 63 年 6 月に本昌寺の墓地移転のための任意団体志津霊園墓地移転対策協力会に移転補償金 15 億 3200 万円を支払ったものの、多額の使途不明金を発生させ、墓地移転事業が中断したことから始まっています。西志津から勝田台方面に行くときは、迂回して細い道を車、徒歩、自転車が行き交い、交通事故も多発。友人も事故に遭い、車は廃車に。
本昌寺を突っ切る都市計画道路勝田台・長熊線（延長 13km）あと 120Mで開通。
本昌寺墓地使用者 368 区画のうち、348 区画の方が移転補償契約締結。土地もまだ未買収地があります。霊園移転代替地は、下志津・畔田。移転代替地の造成進捗状況は、志津霊園対策室ホームページに載っています。
<http://www.city.sakura.lg.jp/sizreien/index.htm>
志津霊園対策室の設置目的にある通り、「道路開通」と「損害回復」を切り離し、並行して進め、現予定平成 27 年に志津霊園問題解決につながるために、議会はもちろんの事、市民が、関心を持ち続けることが大切です。皆様の収めた税金が使われています。

6 月定例議会

平成 23 年度佐倉市一般会計補正予算は平成 23 年度の当初予算は、4 月に統一地方選挙が予定されていたことから、経常的経費を中心とした「骨格予算」を編成。このため、今回の補正予算では、第 4 次総合計画に基づく実施計画に計上した政策的経費を中心に予算計上している。また、東日本大震災の災害復旧に要する経費や今後の災害対策に係る経費も併せて計上している。（提案理由より抜粋）詳しくは http://sakurashigikai.gijiroku.com/g07_Giketsu_View.asp?SrchID=977&keyword1=&keyword2= その他、佐倉市体育館を指定管理者に移管するかどうか、井野東土地区画整理事業地及びその隣接地の一部の町名が、6 月 4 日付けで宮ノ台六丁目及び西ユーカリが丘一丁目から西ユーカリが丘五丁目までに変更となることに伴う、井野小学校、学童保育所、ユーカリが丘出張所の設置条例の一部改正するための議案です。

はしおか協美 後援会

佐倉市ユーカリが丘 4-1-E3101

TEL 080-4079-3101 FAX 488-3553

[はしおか協美](#) [検索](#) [🔍 クリック](#)

[ホームページ](#)

<http://www.catv296.ne.jp/~hashioka-kyomi/>
[ブログ](#)

<http://blog.goo.ne.jp/hashioka-kyomi>

住民から寄せられたご意見から防災体制と青色回転灯パトロールについて6月定例会で議員として初めて一般質問をいたしました。

大震災で浮き彫りになったのは、行政の力量が住民の命を左右する一つの大きな要素であるという事です。

私自身、地震発災時、市役所6階で会議中でした。ニュージーランドでの地震の記憶が新しく、『自助』まずは自分の命は自分で守り一瞬を生き抜くために壁際に寄り、揺れが収まった後に、階段で避難をいたしました。庁舎外には、すでに避難した市民・職員が集まっており、「建物から離れて！」の誘導のもと、出来るだけ建物から離れました。地震はいつどこで起こるかわからない中、発災時にその場に居合わせた者同士が助け合う「共助」が必要不可欠です。共に助け合う共助とは、昔ながらの向こう三軒両隣で助け合うことですが、核家族化、共働き、少子高齢化などを背景に、この共助が難しくなっているのが現状です。

絆が深いとされている旧村地域においても、超高齢化が進み、お年寄りの独居や引きこもりの問題も出てきています。また、今回の震災から、自助、共助に向けた地域の自主防災組織の重要性が明らかになり、自主防災組織の組織率を高め、既存組織に対するフォローをし、災害時における防災力アップにつなげて頂きたいと思っております。

① ユーカリが丘上座地域ではかなりの自治会ですすでに発足している自主防災組織ですが、市内274自治会町内会の内設立済みは77団体。開発中の西ユーカリが丘が隣接し、これから自治会、自主防災組織を立ち上げる状況を踏まえて質問し、市長自らも佐倉市全域で自主防災組織の設立を推進していくと答弁がありました。

② 青色回転灯パトロールについては、警察の赤色灯パトロール-赤鬼、自主防犯団体の青

色回転灯パトロール-青鬼の両輪でパトロールし犯罪抑止の相乗効果を上げていきましょう！と、協力して活動している中、市として現在の青色回転灯パトロールを継続するという要望をいたしました。自主防犯団体の9割が青色回転灯パトロールの継続を望むアンケート結果が出ているので、市としても検討していきたいと答弁がありました。

⇒市川市では

青色防犯パトロールに使用する青色回転灯の貸与と警察および運輸支局への申請手続きについて助言・サポートしています。

⇒近隣自治体

夢まるふぁんどや日本財団から青色防犯パトロールカーの寄贈をうけパトロール実施

③ 震災時の学校の対応については、西志津小で震度5強で保護者引き渡しにする基準のお知らせが出たのを踏まえ、近隣の小中PTAから、少なくとも小中共通もしくは志津地区だけでも共通の統一基準が欲しいと要望した事に対して、地域の特性を踏まえて危機管理マニュアルの改訂をしていくと教育長から答弁がありました。

防災無線・防災井戸・学校耐震化

防災井戸（320万円/1基）が避難所39か所すべてに設置完了し（防災井戸現在19か所+H23年度末までに7か所増設-志津中、井野小含む）、学校耐震化が終了するのは平成27年。現在94基の防災無線を市内全域で聞こえるようにするためには、あと86基順次設置していく。

この震災を踏まえて、前倒しの設置をこれからも要望し、すすめていきます。

皆様の声を市政に届けるための議会活動をしていきます。ご意見お待ちいたしております。

